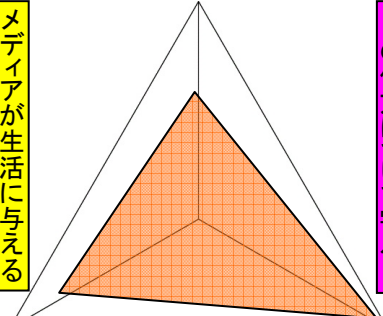


研修名	先生も体験！携帯電話の考え方 (60分)	
研修のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話のとらえ方は、人によってちがいがああることを知る。 ・携帯電話の使い方は、同じ人でもその時の状況で変わってくることを知る。 ・体験したことをもとに、携帯電話の考え方を子供に考えさせる授業を構想する。 	
この実践のメディアゾーン	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> メディアの特性と適切なメディアの選択の仕方について学ぶ </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; font-size: small;"> メディアが生活に与える影響について学ぶ </div>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; font-size: small;"> メディアが取り巻く社会での安全な行動の仕方について学ぶ </div> </div>	実践の意図 <ul style="list-style-type: none"> ○想定する教員の状況 ・子どもと携帯電話利用における指導では「相手の立場を考える」ことに触れることが多い。しかし、相手と自分の立場や考え方を具体的に掘り下げることは多くない。クイズ体験を通して、子どもがすれ違いを起こしやすいポイントや、価値観の違いを受け入れられるようにするための手だてについて考えてもらうことを想定したい。 ○パッケージの目標 ・クイズに答え、○×それぞれの立場から意見交換をすることにより、よく知った相手であっても価値観や考え方には違いがあることに気づく。一面的な見方に気付き、広い視野に立って考えられるようになる。 ・子どもの実態に合わせて、どのような設問でどのように考えさせたらよいか授業を構想することができる。 ○留意点 ・付録のワークシートを利用しても良いが、子どもたちの実態に合わせて質問は工夫した方がよい。

受 = 情報の受け手としての力を育てるために

送 = 情報の送り手としての力を育てるために

I、個人で○×クイズに答える (5分)

- 受** ○、○×クイズを読んで、一人で答えを考えてみて下さい。答えはワークシートに書いてください。
- 送** 全部の質問について、答えを回答欄Aに記入する。

Ws1: ○×クイズ

II、みんなで○×クイズに答える。意見交換をする(20分)

- 受** ○、全員で○×クイズをします。問題を聞いたら、○か×のコーナーに移動してください。問題を聞いて、○か×のコーナーに移動する。
- 受** ○、○の理由、×の理由を発表してください。
- 送** それぞれの立場で自由に意見を述べる。それに対して意見を持ち、発表する。
- 受** ○、友だちの意見を聞いて、考えが変わったら場所を移動しても構いません。ワークシートのB欄に、自分が今いるコーナーを記入してください。
- みんなの意見を聞いて、自分の考えをまとめる。
コーナーを移動し、ワークシートを記入する。
- 受** ○、二つの答えが違っていた場合、なぜそうなったのか考えて下さい。
- ワークシートを振り返りながら、2回の答えが違った理由を考える。

Ws1: ○×クイズ

III、クイズをふり返り、携帯電話とのつき合い方を考える(15分)

- 受** ○、クイズをやってみて、気がついたことや感じたことを発表して下さい。
- 送** 考えたことを発表する。
- 、考えたことを、ワークシートにまとめてください。

Ws1: ○×クイズ

IV、授業のポイントを確認する(20分)

- 、この授業で落としてはいけないことは何か、確認します。
- ・携帯電話の利用に際しては、その場の状況やその人の価値観によって取る行動が変わってくるのが当たり前であり、相手の立場や考え方をくみ取り理解しようとする姿勢を持つことが大事だということを、具体的な事例と意見交換をもとに気付かせること。
 - ・そのため、意見交換に十分な時間を取ることが必要であること。
 - ・普段から、コミュニケーションでは相手の気持ちを考えるように授業場面や学級経営で配慮する。
- 、自分の受け持つ子どもたちだったらどのような意見交換になるか、予想を立ててください。